

令和7年11月14日

大阪府立柴島高等学校 第2回 学校運営協議会 議事録

1 会議日時 令和7年11月14日（金） 14:30～16:00

2 開催場所 大阪府立柴島高等学校 校長室及び各教室

3 委員

	名前	資格	所属	出欠
会長	森田 英嗣	学識経験者	大阪教育大学 教授	○
副会長	岡崎 鉄彦	地域の関係者	大阪市立淡路中学校 校長	○
委員	表西 貴文	地域の関係者	大阪市新大阪人権協会 評議員	○
委員	三木 幸美	学校運営に資する活動を行う者	とよなか国際交流協会 事業主任	○
委員	坂本 浩子	その他の関係者	元本校後援会会計	○
委員	原條 由佳里	保護者	本校PTA 会長	○

4 事務局（学校側）

高田 裕介（教頭） 藤田 秀樹（事務長） 森田 正良（校長）

5 次第

- 校長あいさつ
- 会長あいさつ
- 授業見学
- 協議

6 協議の概要

○授業見学についての質疑応答

会長）「福祉」など実学の授業がとても参考になる。「和楽器」の授業も実際に見ると、太鼓がどれだけ身体に響くかを体感できる。「災害」の授業も、いつ起こっても不思議ではない災害への備えについて考える機会を設けることは重要だと思う。どの授業も、生徒の一生懸命に取り組んでいる姿が印象的だった。アメリカでは、生徒同士の討論が多く、年齢が上がるにつれて徐々に深まっていく傾向にあるが、日本の場合、小学生のうちはよく話す、年齢が上がるにつれて議論ができなくなっている。柴島高校では、生徒が議論や相談をしながら授業を進めており、コミュニケーション能力の育成を考えたとき、非常に大切なことである。多くの学校では規律の中での学びが重視されてきたが、このようなリラックスした雰囲気の中で話し合いながら学習を深めていくことが重要だと思う。今後は、中学校と連携した授業をしても面白いのではないかな。

委員）「災害」の授業で思ったことは、私自身、東淀川まちづくり協議会の委員を務めているので、

柴島高校の生徒が地元のまちづくりに参加することを通じて学ぶ機会をつくってもよいのではないかと。現在、阪急電車の高架下を利用して施設を充実させようかというも議論している。いろいろなアイデアを地域に根差す高校生からもいただきたいので、是非参加してもらいたい。柴島高校の生徒がロールモデルとなって、よりいっそう学校の魅力を発信してほしい。

委員) 福祉実習棟を初めて見たが、とても立派な設備があり驚いた。保護者はあまり知らないと思うので、学校の魅力の一つとして発信を強化していただけたらいいのではないかと。また、保護者は、自分の子どもが実際にどのような授業を受けているのか、あまり知らないことも多いと思われる。今回このような機会を設けていただき見学できることはありがたいが、一般の保護者についても気軽に見学できる環境を構築していただくことも必要ではないかと。

事務局) 受入態勢や警備上の問題などの課題もあるが、実現に向けて検討していきたいと思う。

校長) かつて本校でも授業公開の機会があったが、せっかく設定したにも関わらず来校者数が少なかったという話も聞いている。府立高校の中には、コロナ禍を機に途絶えてしまったというところも少なくないが、ご要望の趣旨はよく理解できるので、あらためて検討させていただきたい。

委員) 個性豊かな先生が多い印象である。全体を通じて生徒は落ち着いて授業を受けていた印象のように感じた。多様な選択科目があることは承知しているが、希望する科目が選択できなかったこともあったと聞いている。希望科目を受講できるようにするため、何か対策を講じていることはあるのか？

校長) 科目選択については、希望者が多い場合は選考や抽選となり、逆に少な過ぎる場合は閉講となるなどのケースにより、どうしても別講座に移動してもらうことになる生徒は皆無ではない。しかし、例えば、多数の希望者が予想される授業については同じ授業を複数曜日の科目群に設定したり、単一学年では希望者が少なくとも2・3年同時開講にすることで希望者を確保して成立させたりするなど、できるだけ希望を叶えるための工夫を行っている。

委員) 過去には本校から柴島高校に進学する生徒が多かったが、昨今はめっきり減っており、さらに連携を強めるよう取組んでいきたい。本日の授業見学で、あらためて柴島高校へ理解が深まった。特に、高校ではタブレット端末の利用が進み、文房具の一つとして活用されていることを実感した。中学校でも活用を促進していきたい。

校長) 端末について補足すると、府立高校では、府からChromebookが貸与されている。Windowsの方が使いやすいという声もあるが、管理や操作はシンプルだという面もある。調べ学習や課題の配信・提出など、授業で活用されている例は多い。

○その他

事務局) 生徒会から校則検討の発議ができるよう手続きを定めた制度改正を前年度に行ったところであるが、先日、実際に発議がなされた。

委員) 内容はどのようなものか？

校長) セーター・ベスト・カーディガンの色やライン柄についての規定を緩和してほしいという要望である。発議内容には説得力もあると感じている。現在、校内で検討して回答する準備をしているところ。このように生徒から声があがるのは、とても喜ばしいことだと思う。

7 第3回学校運営協議会について

令和8年2月2日(月)、5日(木)、6日(金)のいずれかを軸に後日調整